



台東区議会議員

早川太郎



平成29年 第三回定例会 報告

<http://hayakawa-taro.com/> 随時ブログ更新中! Vol.26



9月11日から45日間にわたって開催された第三回定例会は、平成28年度台東区各会計歳入歳出決算の認定のほか、約9千万円の一般会計補正予算(第2回)、約6億円の一般会計補正予算(第3回)など議案15案件を可決し、10月25日に終了しました。

9月20日には、一般質問を行い、**バリアフリー対策の推進や、障害者施設の整備、保健所の子育て世帯におけるデータ管理の充実**について、提案・質問を行いました。(質問要旨は裏面をご覧ください)

すべての世代の未来のために、台東区の未来のために。今後とも区民の皆様の声をいただきながら、台東区政改革に全力で取り組んでいく決意です。ご理解とご協力をお願いいたします。

平成29年度一般会計補正予算(第2・3回)成立。

今回の定例会では、約9千万円の一般会計補正予算(第2回)や、約6億円の一般会計補正予算(第3回)、基金積立金約2億1千万円を含む約4億7千万円の介護保険会計補正予算(第1回)が審議され、成立しました。

第2回補正予算には、**衆議院議員選挙のための費用**が、第3回補正予算には、**学習支援や食事提供などの子供の育成支援を実施する団体に対する助成**として、当初予算の2団体分に更に2団体分を追加するための費用や、**赤ちゃんバンダ公開記念に要する費用、東武浅草駅観光バス待合所の設置費用**などが含まれていて、必要な予算と考え賛成いたしました。今後とも、**観光対策や子育て対策**など、より一層の充実をはかるべく、全力を尽くしてまいります。

平成28年度台東区各会計決算を認定。

28年度の一般会計歳入総額は、**約982億円**。特別区税が、納税義務者増などにより、前年度に比べて**約4億円の増収**となりました。しかし、特別区交付金は、その財源である法人住民税の減などにより対前年**約8億円の減収**。また、地方消費税交付金も、算定月数が前年に比べて1月減となったことなどにより**約6億円減**となるなど、歳入全体では前年度に対して、**約20億円の減収**となりました。しかし、前年度からの繰越金が約39億円あったことや、**約4億円の歳出減**などもあり、当初予算で計上していた基金からの繰入金約18億円をほぼ取り崩すことなしに、翌年度に**約24億円の繰越**を行うことが可能となりました。

今年度は、決算特別委員会委員ではありませんので、会派の**政調会長**として、会派内の質疑内容等の調整を行うなど、各決算をしっかりとチェックし、28年度決算を認定いたしました。

墨田区・文京区視察 ～ふるさと納税～

9月1日、ふるさと納税の活用を行なっている近隣区を視察。

●午前中は、姉妹都市である墨田区へ。

墨田区は「**すみだ北斎美術館**」開設するにあたり、建設費のうち「**5億円を寄付**で」という予算に関する付帯決議を行って、寄附募集を開始しました。税制改正(ワンストップ特例制度など)によって、ふるさと納税がしやすい環境が整備された27年度から、ふるさと納税サイトを活用した寄附募集もスタートしています。すみだの地域ブランド「すみだモダン」認証商品など寄付特典としたこともあり、2年間で約3億6千万円以上の寄付を集めています。

●午後は、文京区へ。

文京区では、今話題の**子ども在食プロジェクト**について教えていただきました。この事業は、文京区も含めた6つの団体がイコールパートナーとして共同体を形成して行っています。生活困窮世帯に対して、フードバンク等から提供を受けた食品等を配送する活動などの財源として、ふるさと納税を活用すること。返礼品などの特典はありませんが、目標金額の2千万を超える寄付を開始1か月余で集めています。

28年度決算では、ふるさと納税によって台東区が受ける影響推計額はマフス1.9億円にもなっています。台東区においても、ふるさと納税導入の検討を進める時期に来ていると思っていますので、先進事例を含め今後もしっかりと勉強していきます。

